



柳川市民文化会館

【開館時間】午前9時～午後10時、月曜休館
【問い合わせ】0944・73・7777

公式サイト

水都やながわ information

バイオリンとピアノで世界中を笑顔にする奇跡のアンサンブル

TSUKEMEN スペシャルコンサート

日本のみならず欧米やアジアなど世界各国で700本を超える舞台に立ち、50万人以上の観客を魅了してきた3人組アンサンブル・ユニットTSUKEMEN。リリースしたCDはクラシック・チャート1位を次々と獲得しています。組曲や合唱曲などさまざまなスタイルのオリジナル曲とともに、予測不能なステージを展開。世界中を笑顔にしてきた奇跡のアンサンブルをお見逃しなく。

●日時 6月14日(日)午後2時開演(開場は45分前)

●会場 白秋ホール

●入場料(全席指定) 6000円(未就学児入場不可)

●無料託児 5月29日(金)までに要予約

●前売券販売 2月1日(日)午前10時から市民文化会館で販売(1人4枚まで)

2月1日
販売開始

新市史抄片

No.209

【問】市生涯学習課市史編さん係(0944・72・1275)

大正期の柳河商工会会長 森田孝平

柳川古文書館 中川晃一



【写真2】「柳河商工案内」表紙
(大正13年刊行)



【写真1】夜桜会の新聞記事
(「柳河新報」大正12年4月7日)

今回は、大正期に柳川の商工業の活性化に尽力した森田孝平を紹介します。孝平は慶應元(1865)年の生まれで、明治・大正期に柳河町(現在の京町通り)で森田商店を営んでいました。森田商店は明治43(1910)年に創業した雑貨商で、大正期半ば頃から主に洋服を取り扱うようになります。

大正6(1917)年、孝平は柳河商工会の副会長を経て、会長に就任しました。柳河商工会は明治19年創立の柳河実業青年会を前身とし、同30年に柳河商工会に改称、昭和22(1947)年に発展改組し、現在の柳河商工会議所につながります。柳河商工会では従業員の表彰や納税・物価の調査、商工業地の視察といったさまざまな活動を行っていました。

当時、柳河商工会に対して、柳川の発展の遅れや物価高などを背景とした批判や期待の声があったことが「柳河新報」で確認できます。そうした状況の中、会長に就任した孝平は、さまざまな取り組みを進めています。

大正7年、柳河町の商店からなる柳河安売団(団長森田孝平)という組織が結成されました。柳河安売団は正月やお盆など年に数回、景品付きの大売り出しを開催し、町の景気を活性化させようと試みました。大売り出し以外にも、春には潮干狩りへの案

内や高畠公園で夜桜会を開き、電飾や売店を設けて変装行列などの余興をお客さんを呼び込んだりしました(写真1)。夏には祇園神社(現在の中町八剣神社)で納涼会を開き、噴水のある池を作り、舞台を設けて素人演芸大会などを行いました。加えて、大運動会を高畠公園でたびたび開催しました。こうした活動は、それなりの成果があったようで、沖端村商工会でも安売団が結成されています。昭和期にも活動を続け、三柱神社には昭和御大典記念に100本の桜を境内に植樹したときの記念碑が残っています。

大正12、13年には、中町祇園会に合わせて店頭装飾競技会を行いました。これは各商店に店の飾り付けを競わせるもので、多くの人々がそれを見て楽しみました。

また、大正13年に柳河商工会は、柳川の商工業者らを掲載し、名所など柳川案内も兼ねた「柳河商工案内」(森田孝平編集)を発行しています(写真2)。

しかしながら、孝平は大正13年頃に病にかかり、一時入院したのち、自宅療養中の翌年12月7日に亡くなりました(享年61)。昨年12月、孝平の没後100年を迎える。およそ100年前の柳川のまちの活気は、孝平を中心として支えられていたといえます。

壇遼ギターとの対話 Vol. 3
キース・ジャレット「ケルン・コンサート」演奏会

「ギターとの対話」シリーズの最後を飾るVol.3は、世界的なジャズ・ピアニスト、キース・ジャレットの歴史的アルバム「ケルン・コンサート」を3人のギタリストで演奏する画期的なプログラムです。果たしてどんな世界が出現するのでしょうか。

●日時 4月19日(日)午後2時開演(開場は45分前)
●会場 イベントホール
●入場料(全席自由) 3000円(未就学児入場不可)
●出演者 壇遼(ギター)、松本富有樹(ギター)、松下隆二(ギター)
●前売券販売 1月17日(土)午前10時から市民文化会館で販売

